

| | |
|--------------|---|
| Title | 影印『手繰舟』巻六 |
| Author(s) | |
| Citation | 語文. 1980, 37, p. 23-58 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/68667 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

手
繰
舟
六



月海は静めてはは草
かきとみまはらふ人まじりし
やねの舞をうづらふとひらき
てたぢよわけは六宮かれば花
舞まじりのそしてうんたじ
ふまの代とたりし懐の時り
ありて寛文六年正月
十日に表の吹風すこしはら
みけのうしろに柳をうたむに
あつて櫻井浦戎乃るるらり
新造ひし物まらうとやま
そ船くうらふとやま文句

年一若月すよよまを志ひし
うらひあはれうらもくも志
時をといふ又も愁を志ひし
ふまにみまひまを志ひし
持たし言はれしうらもく
ふま代乃ま瑞まらし
清なる大船取すとへか
八所れ今うらまらふ者
此ふまのうらまはるる
集まらふま板橋とほし村
と建て我の又志ひし
新造れ人家新とぬて

道遠乃地とんるれ地川乃
 あこころあつるあつる花
 下川潮りさうれまゝさう
 船ととあくまうは彩瑞
 乃ほよまあまて道真あ見
 あり次あをたつる橋南あ
 流目そ四國乃山あまにか
 けり後ハ伊駒乃定る葛城の
 事やまぬまうはひく南を
 紀路乃ま山あまれう良
 よまほくまのわあう信吉
 誰彼乃浦はほまて武庫の

奥なる山も雪乃中にあ
 へしは家によつては境ちま
 かまれ人まゝうもいゝを
 ちり青りりんで朝夕あ開あ
 まはる人争れまゝた
 は浦乃懸業今これおあも
 みくさうまれかまゝこれ
 とたの或ハ詩哥と作ち或
 八連柳りうまうは約とあ
 少く事すまゝあませり
 ちるあまをいまは浦は屋
 とまゝたまゝう人も只し

くて今が集まるまで
舟ははたかたはたわたり
ともかくとさしあがり
よがわたりとさ

維時寛文十一年

辛亥之朱律

阿知子顯成

春

舟巻第六

我信
矣句合

芦原江崎乃くく也我揚云於
 此守乃名也子家美我同一守
 小守も又浦乃初守也我同宗満
 了也守乃くくはくは也我友佐
 存也人て出影と秤のめ我揚吉改
 新守乃守護はくく也我同吾心
 家國又めてくく守也我同信在
 如守乃やまをひくくも我同心守
 朝やう守の忠守乃め我同貞房

信守もや紀守乃守也我平村宗静
 新守も又新守乃くくも我揚宗貞
 新守もははくくも也我同利貞
 新守も林はくくも也我同宗貞
 新守も守乃くくも也我希生一志
 守乃はくくも也新守乃め我揚吉清
 樽浦也是も今又も我同久成
 出守も舟原信乃め我泉兵全休
 朴朝や一か樽乃め我揚信貞
 うん守も嚴也守め我同徳雨
 守乃も守もくくも也我同向吟
 守乃もくくも守もくくも我同

是も乃思はるる若我櫻 承
 若我乃や櫻かむ西の文 同 空
 春乃やくわんじつ又万葉 千鳥
 蓬葉はらりていつの春の乃 林見
 晴は乃乃我乃あや雲風 顯成
 乃の乃乃我乃あよむ 宗満
 新は乃乃我乃や十月我乃 文色
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 好重
 は乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 可彦
 又立つ乃乃乃乃乃乃乃乃乃 心翁
 乙乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 心室
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 貞伸

船幕と乃乃乃乃乃乃乃乃乃 謙
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 菊
 我乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 如
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 方寸
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 老色
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 長正
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 利貞
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 武家
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 如
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 宗俊
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 櫻
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 大板
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃 同 空

極朝乃夕終中し我信同 長信
物乃余も定也持人我信一六
其の海遠風沙は會し我季 春

夏

如ふかたし〜長信長信同 長信
我信也言と和申郭云同 長信
長信や泉及万葉其神奈同 長信
五月雨吹か久雪其久信同 長信
信其乃長も申か〜長信同 長信
我信也い〜もつ〜長信同 長信
玉島信其け信信〜我信同 長信

不て是信信〜我信同 長信
其の信〜信も〜我信同 長信
水信〜信も〜我信同 長信
其信〜信も〜我信同 長信
信も〜信も〜我信同 長信
信も〜信も〜我信同 長信
信も〜信も〜我信同 長信
信も〜信も〜我信同 長信

秋

西乃〜信も〜我信同 長信
一六

あつた乃下りまを境一り
川さるはい道名忠懐と云ふ
よとせらちちち一はたふ言
ものも俳諧乃奈向と云ふ
教一りはしていらく詞はて
列しつらふまふれ中投多
月別と云まめつしけはし
あふくを奈向とめて勝まけ
乃おを定むつふふしつらく
短也叶くまはれつらひく
固辞はつらひも越らとれ
くく一はつらひつらふらふ

あはれはつらひも具六金と云ふ
し且ま人のおひつらふ
世をいもつらひつらひつら
らつらつらつらつらつら

寛文九年三月申南 松山致也

作者

左

狐塚風窓
淺見川紫菊
二河風芦
花園雪野
菊田紫園

右

松置風鈴軒
鳴川紫簫
白網風鷗
中寺風蕉
小川柳橋

百番俳諧發句合

一番 元日

左

狐塚風窓

流るるぬ岩博乃山松乃松

右

松置風鈴軒

中一棚河原ても松乃方

言は紫やまはくはくはて鶴松

二番 初芝右

左

浅見川紫菊

よせ太鼓先生志ものや初芝お

右

鳴川紫簫

荒き月もくはるは初芝右

初芝おれもころやを右被

三番 水掛祝

右 持 二沼風芦

終しと沖中河乃水はひ

右 白細風鶴

とし煙乃祓儀もくや水はをせ

なほは生りくく成水はひ

四番 若菜

右 花園音駢

揃もや先はうりくくくひふ

右 孫 中寺風蕉

揃もやをまはれふとのいすな

右乃ま先んてはやを若菜

五番 吉野餅配

右 拵 菊田志剛

うれはきくせぬ言う餅はけり

右 小川柳橋

まの山むまはくろや餅はりり

とろくやい餅もようれ餅配

六番 薪焼

右 お 狐塚風窓

祓も徳も新もむと打乃肉

右 松雲風松野

養自登や袖もりてく祓も徳

まじりたやたむしの新法

七番 猫草巻

七番 勝 海戸の窓菊

まじりのわがしなりの猫草巻

右 唱の窓菊

まじりしんか悔する男猫草

心ひくくやまの猫草巻

八番 春駒

右 勝 二派風声

まじりしんか悔する男猫草

右 白網の巻

まじりしんか悔する男猫草

まじりしんか悔する男猫草

九番 海苔

右 花園音評

まじりしんか悔する男猫草

右 勝 中ち風進

まじりしんか悔する男猫草

右 勝 防風

十番 防風

右 勝 菊田巻劇

まじりしんか悔する男猫草

右 小川柳巻

まじりしんか悔する男猫草

白侯まねくハニホノ防風散

十一番 種蒔

丸 瓶根風意

甲の玉やホノ成秋と植わりし

右 勝 松風散新

官博聖や都乃活活イホ疾乃

文様世に蘇くくハノイハノ心

十二番 麻蒔

ま 海人徳菊

一まわまわやまの成くく麻

右 勝 留何家菊

まくハノイハノ心

蒔人乃者そがうくしと栲麻

十三番 栲杞

丸 二活風草

ホノイハノ心ニ葉やまの心

右 勝 茶 白綱風踏

摘くくハノイハノ心

ニ葉やまの心ニ葉やまの心

十四番 田芋

ま 花園音研

刈漉ま敷ほくハノイハノ心

右 勝 中右風蓮

あひらちや花ちと田芋

誰と皆さしちと吹田鳥草

十五番 柳籠

右 楠 菊田園

物系も波もてむはよ柳之

右 小川柳橋

釣竿やま川をさる柳之

合すれはる所ありはし柳籠

十六番 鳥巢

右 狹塚風堂

多れ玉子のあま進款多葉指

右 勝 松尾風物形

風もあまさしはまはけ標

よのつらなるともたてはけ相

十七番 砂塚金輝

右 勝 藤の河津菊

鐘乃意ありしよらるはる金

右 勝 唱何来着

わはますらむとがらふらはる

志れもらるに志のくと砂塚金

十八番 土生金輝

右 勝 二沼風草

六乃揚とくれきてくはる金

右 勝 河瀬風踏

嘆むれはらるる者こそたふ金

六乃帰やと帆を了作をよ念仏

十九番 花

花 勝 花園音駒

ちりきりいひいひいひいひい紙

右 中ち風道

月と花の所あるぬん物と乳

かきこつていふ事しむれし時紙

廿番 橋

花 菊田定則

写すももはくくはし板木水

右 勝 小川柳橋

是う哉都の奥入江戸橋

一句ふありの紙もまゝふ江戸橋

廿番 橋棚

花 瓶塚風定

かて事りやむかふ重もさる網

右 勝 松原風定

橋ありお前の網やうしむ心

お前う夫下一枚乃さる網

廿二番 鳥賊幟

花 橋 後か何定則

下かろく夫はさるやいのけり

右 橋 鳥の定則

橋馬や雲ふいりはくい此あり

をれぬ天三をいれり

カキ毒 梨花

丸 勝 二沼風芦

月けや雲をりしてふれ花

右 白網風踏

四ていりりるるるるるるるる

金言や雲のりりりりりりり

カ西毒 蕨花化

丸 花園吉野

林花や枝なりりりりりりりり

右 勝 中る風蕉

えひりりりりりりりりりりり

えひりりりりりりりりりりり

カ又毒 柳花

丸 右 菊田生園

火後りりりりりりりりりりり

右 小川柳花

りりりりりりりりりりりりり

煙りりりりりりりりりりり

カ六毒 角夏

丸 右 柳塚風定

夏をりりりりりりりりりりり

右 松尾風花新

わりりりりりりりりりりりり

とまろく下めけりかきまもろれ

カ七番 万葉

カ 勝 ばいばい

すくふれはたかまも將軍花

カ ち 唱の空葉

むひけけりや美陸のあそび

誰きひ下まかれぬ將軍花

カ八番 郭云

カ 持 二沼風芦

里より出香をとままけ郭云

右 江網風鷗

村面やなんあひはのりもふれ

あひれやあひれが郭云

カ九番 諫鼓鳥

カ 勝 ちり園吉郎

はるよきうらふおちけい鳥

カ ち 中寺風蕉

さひらちちあはれおちけい鳥

喜れおちけい鳥

カ十番 蚊食鳥

カ 持 菊田定則

ひらけらまるとおちけい鳥

右 小川柳橋

端よりうらやならう蚊食鳥

松屋人かたけいしゆと美ら嶋

可五番 端午

右 葡萄園定例

八棟やけいふらけいしゆと美ら嶋

右 小石柳橋

壺の絵も様すくしゆと美ら嶋

八棟のうへふらけいしゆと美ら嶋

可六番 早苗

右 狐塚団圓

うら田よ稲架の杖やくしゆと美ら嶋

右 松島風鈴

早苗とるまふらけいしゆと美ら嶋

うら田よ稲架の杖やくしゆと美ら嶋

可七番 葵雨

右 雲分ほ雲菊

火と今ふらけいしゆと美ら嶋

右 写し雲菊

いしゆと美ら嶋のうへふらけいしゆと美ら嶋

早苗とるまふらけいしゆと美ら嶋

可八番 花袖

右 二石風鈴

酒のあま枝より物ねむ袖れ

右 白網風鈴

いしゆと美ら嶋のうへふらけいしゆと美ら嶋

心袖らしきふくやぐさる小樽酒

可九番 紫雲双樹

方 持 花園若野

はらむ六輪のふしうゆめ双樹

右 中も風直

花は茶とすの代家のゆめ双樹

まふらゆめゆめゆめゆめゆめ双樹

甲十番 風車巻

方 勝 菊田忠剛

心は橋や羽園麻さるに風車

右 小川柳橋

蘆花吹雪さるさける風車

羽らりとせぬもはやくや風車

甲十番 下野記

左 勝 旗原風定

志もはれしむにりりゆめ結城が

右 松島阿弥好

下野のむらさきてな乃もくへれ

下野のむらさきてな乃もくへれ

甲十二番 百合車

方 お 浅見阿茶菊

むらさきさるゆめ車ゆめ

右 鳴川定葉

花の香るさるさるゆめ車百合

何れも山吹もさきも車馬

甲十三番 瓦

左 勝 二江風

いりてやも水も月よまき葉風

右 白網風

むすしとけ風もひまへまき乃高

味いこころの事しきまへ乃高

甲十四番 白玉

左 花園宮

むすしとけ風もひまへまき乃高

右 中々風

衣裳もやもさきも車馬

あまのついで風もひまへまき乃高

甲十五番 蓮風

左 勝 菊田宮

くんとやも水も月よまき葉風

右 小川柳橋

むすしとけ風もひまへまき乃高

蓮風もさきも車馬

甲十六番 白玉

左 狐橋風

むすしとけ風もひまへまき乃高

右 松尾風

衣裳もやもさきも車馬

あひや同行一人通きよ

甲十七番 湯乃行

右 秋 後見行葉菊

あひや同行一人通きよ

右 唱 何葉菊

あひや同行一人通きよ

あひや同行一人通きよ

甲十八番 舞海原

右 勝 二江風声

あひや同行一人通きよ

右 江 網凡鷗

あひや同行一人通きよ

あひや同行一人通きよ

甲十九番 汗

右 秋 花園書野

あひや同行一人通きよ

右 中 寺風道

あひや同行一人通きよ

あひや同行一人通きよ

甲二十番 納涼

右 菊 田笠剛

あひや同行一人通きよ

右 小 川柳栞

あひや同行一人通きよ

市川の水もふもや五葉流

五十二番 七步

丸お 楓根風定

楓根も雪乃名あり二星

右 松原風定

鶴の橋けしもや星の中

はくしも鶴の橋けし

五十二番 玉糸

丸お 沙乃河生菊

誰か白くも浅くし玉糸

右 鳴河生菊

扇尾草も雪も白く玉糸

はくしも雪の中し玉糸

五十二番 花火

丸お 二派風定

ちね貞袖の中なるも花火

右 江網風定

菊乃中も雪も白く玉糸

雪も白くも雪の中し玉糸

五十二番 ね核

丸お 花園生菊

ほくしも雪の中し玉糸

右 中風定

雪も白くも雪の中し玉糸

かゝるもよたりきりし勝り

五十二番 松葉菜

た 右 持 小南田空閑

まはりてや云根乃 飛と六地花

右 勝 小川柳橋

茶室もとらるや雲此地花を

心とくさる此地花乃 茶花

五十六番 岑入

き 右 持 瓶塚風定

岑入やまのりりりりはははは

右 勝 松尾風定

かひかひいづく越すぬ岑入たを

岑入はとくむるむけおれ

五十七番 右月

た 持 深見河集菊

さ板やのけりそれからる月

右 持 鳴河集菊

右のりや木のりりはははは

同右や天のりりりり月の

六十八番 蜻蛉

た 右 持 二派風定

右のりや木のりりりり月の

右 持 白網風定

右のりや木のりりりり月の

中も海もなほいし色もあまき

五十九番 鰯

右 册 志園寺伊

めしりしき魚もちとむりしはら

右 中寺風蓮

花薄かよふて声や川に流る

川勝て魚もも巨乃りはら

六十番 鱈

右 册 菊田世剛

京乃人やほしるものなひは魚

右 小川柳橋

切目しるも色もあまき魚

京れん乃魚はらしる魚の魚

六十番 鱈

右 册 猿橋風蓮

川もけやがれもはらしる魚

右 松尾同次郎

かしらもくもやきくもなほ川

水乃たよるる色もあまき魚

六十二番 鱈

右 册 津川世剛

山にたわすはらもくもなほ川

右 町田宗葉南

水乃たよるる色もあまき魚

男麻也ろふろふ二管笛

六十三番 風仙花

左 勝 二流竹芦

鳥もすえよのりろし風仙花

右 白綱風鈴

尺やちんちんあそび風仙花

ゆせんはつまはつ風仙花

六十番 薬箱

左 右 花園書評

ちる嫩乃候氣もよさら杜舞根

右 中も風鈴

ほろほよやろふろふり桔梗の根

えれくれや味りよまらや

六十五番 薬箱

左 右 大田堂劇

ちりて面う秋もほろ赤根

右 小川柳橋

山人やろふろふろふりほろ

たをきよよ心のいろや赤根

六十六番 薬箱

左 右 旅隊風定

四乃の九乃月やけしれ程

右 松原院抄

のりもつろふろふりけしれ

いもろふのうらぶらふさしとては

六十七番 葡萄

右 藤 山吹の葡萄

さくらんぼもさくらんぼや葡萄の酒

右 藤 山吹の葡萄

ちりぢりけいふもさしとては

右 藤 山吹の葡萄

六十八番 野苺

右 藤 二匹風草

奥の洞もさくらんぼや葡萄の酒

右 藤 山吹の葡萄

堀多き野苺は山吹の葡萄

いもろふのうらぶらふさしとては

六十九番 苺

右 藤 花園草

さくらんぼもさくらんぼや葡萄の酒

右 藤 花園草

針草やいもろふさしとては

右 藤 花園草

七十番 松栞

右 藤 葡萄田楽

笑ふもさくらんぼや葡萄の酒

右 藤 小川柳栞

酢もさくらんぼや葡萄の酒

くよとろり丹波の破れかぶりの

七十一番 榎實

丸 枿 楓椽風三

さるさね都はほやふ壁をか

丸 松雲風行の

たふぬくの生まやもるり

よきふむもいりかや

七十二番 梅燦

丸 枿 梅はなま

類なほのむと根やち梅の

丸 ち 唱し兵衛

いまるは今日とては梅の

梅のふんはなまはるのむと

七十三番 杖栗

丸 枿 二階風三

きよひらけめりりてんぼまは

丸 白綱内路

かまてしやしや白川中流の家

おれまは六白川と伝奈

七十四番 紅葉

丸 花園古評

杉まやりみちふとくへかへし

右 中寺風三

おんちやひけしうみ杉乃傳

栢のこころはまよひてはなれ

七十六番 暮秋

た 藤 菊雨定例

り 秋のつすれをえきききき

た 小川栢栢

き 風もや末調の一旬秋のき

ね けしき屋を擧てききき

七十六番 冬更衣

た 栢 栢栢風意

綿入やきもわらうまきき

た 栢 栢風意

雲のききききききききき

かききききききききき

七十七番 小暮

た 藤 法見栢栢

小暮もきききききききき

た 栢 栢栢栢

目りききききききききき

古風もきききききききき

七十八番 神楽

た 栢 二栢風意

かききききききききき

た 栢 栢風意

栢大やきききききききき

ひかりかこもや津乃おるも

七十九番 亥子

右 屏 茶園言評

ちきりよれくえんよとよのり餅

右 中も風道

君代や流をも春しおの子餅

けなまをふらちちやより家餅

八十番 十程はま

右 お 菊田定因

心りもやもも月たち十程小

右 小川柳橋

中夜らや祥ねも月定すき合併

は院そよめきやまおれし十程

八十番 日蓮忌

右 屏 孤極風定

傳まておるひりやう日蓮忌

右 松島風道

題圓光まもはりやのり餅

片意地は河やいりやう日蓮忌

八十二番 寒車

右 屏 河久河守翁

大はき此道くしんよし懸藤景

右 河合忠甫

冬枯てらむらあかあらし寒

疲るまで下りて馬を遣付る見

八十三番 大根川

左

二沼風芦

川物や土より出て五太根

右 勝

江網風路

空乃も中此根さしや川太根

志とある道と天ぞひい太根

八十四番 紙子

左 勝

花園岩戸

此乃の力何んかまう八金より

右

中寺内蕉

風を下りて面といふつかみよ

世々言はれし人根を金より

八十五番 倉

左

菊田窓園

秋波字と縁見てまも紙守

右 勝

小川林福

浪津やまより小島次は金又

あまはれみよる小倉紙守ま

八十六番 炭

左 勝

狐塚風志

枝炭乃おるやむれびらるる

右

松島風鏡新

かたれしを先とほまる炭入り

二虎乃 亦よ鳥うけ人めし

八十七番 火焼

丸 漆分 漆分

わりの花もよむせし 漆分

右 漆 唱ひ 漆分

障子 漆やまを障子 火焼

漆分 漆分

八十八番 水鳥

丸 漆 二匹 風 芦

水鳥 漆分

右 白網 風 漆

漆分

水鳥 漆分

八十九番 水

丸 花 園 漆

水鳥 漆分

右 漆 中 寺 園 漆

漆分

水鳥 漆分

九十番 漆

丸 漆 菊 田 園 漆

水鳥 漆分

右 小 川 柳 漆

漆分

茶の通乃し人よと云ふり也茶

九十二番 雲

方 飛 楓 楓 風 定

あはれくく声もほろりなりと書

右 松 云 凡 行 約

雪のふりや梅のりぬ鼻赤

茶の白くく声あると書

九十三番 短 敷 寄

さし 松 後 見 川 坐 菊

朝すかや石も乃と書松の雪

右 鳴 阿 坐 菊 翁

雪の松の会ふなりと書これ友

茶のすまじも人なりと書

九十三番 饅

方 二 行 凡 年

梅のふりや梅のりぬ鼻赤

右 白 綱 凡 行 約

雪のふりや梅のりぬ鼻赤

茶の白くく声あると書

九十四番 初 録

虎 花 周 者 伊

初録つるや魚鱗もと書これ

右 中 行 凡 年

雪の松の会ふなりと書これ友

けいせいのこころの初ら

九千七番 寒化酒

左 勝 菊田宗剛

白濁のよもぎのてきはしり

右 小川柳橋

酒肴や香たたる寒化酒

海老も白濁のよもぎの

九千六番 神楽

左 瓶塚風意

帯しらくおぬまの神楽酒

右 勝 松尾風鈴軒

玉振や松寒よりて神楽酒

あつたりのよもぎの神楽酒

九千七番 衣配

左 勝 法久川宗菊

折るあつたりのよもぎの

右 酒の宗菊

深き此酒のよもぎの衣配

一かたのよもぎの衣配

九千八番 煤拵

左 勝 二瓶風鈴

古文や香まよりの煤拵

右 細風鈴

簪弁やらの香まよりの煤拵

古きし女も玉垣より

九番 亥谷

右 花園書院

若ぬまの形しりくふ言合屋

右 橋 中も同書

若くふしかりしよふ言合屋

かゝ言合屋九めくく一原屋

百番 宋書

右 橋 菊田宗則

大津島や一は道しりくく九言

右 小川柳橋

若くく言合屋九めくく二原松

りかひしりくく九言